

山形県長井市

中心市街地活性化基本計画

【2期計画：令和3年4月～令和8年3月】

- ・江戸～最上川の舟運が開かれると物資運搬の集積地となり商業都市として発展した。
- ・大正～国鉄長井線が開通し、最上川沿いから鉄道の間市街地が形成された。
- ・昭和～大手企業の立地により高度経済成長期には企業城下町として発展した。
- ・人口26,338人(R2.3住民基本台帳より)、面積214.67km²

【前期計画(平成28年4月～令和3年3月)の概要】

- 観光交流センターの整備や観光地域づくりプラットフォーム事業(現やまがたアルカディア観光局)によって、減数となっていた歩行者通行量が増加に転じた。併せてまちなか観光客数についても増加している。
- 民間商業施設の整備や創業支援により、中心市街地における創業事業所数が増加
- 全体として目標値の上昇は見込めるものの、市民ニーズによる賑わいの実感や満足する中心市街地とはなっていない。

【中心市街地の課題等】

○便利で快適な都市機能の充実

街路整備事業や公共複合施設の整備などによる都市機能の充実を図り、中心市街地の魅力を向上させるとともに、歩道整備などによる都市の魅力向上や、魅力ある旅行商品の構築などの観光客に興味をもってもらう取り組みが必要

○回遊性を生み出す仕組みづくり

観光交流センターや文化的景観にみる歴史的建造物等によって増加した観光客をまちなかへ波及させ、また、公共複合施設や旧長井小学校第1校舎などを利用する市民が回遊したくなるような仕組みづくりが必要

○経済活動の活性化

次世代を担う人材の育成や創業支援による空き地・空き店舗の増加抑制、商店街等によるイベントの開催などによる賑わいをつくとともに、持続性のある経済活動の活性化が必要

【目指す中心市街地の都市像】
「時代(とき)・エリア・人をつなぐ」

【前期計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値 ※()は目標値の達成状況
まちなかの にぎわい創出	歩行者通行量 (休日)	190人/日 (H26)	397/日 (R2)	373人/日 (R1:未達成)
	中心市街地における 創業事業所数(年間)	平均1.6件/年 (H22～26)	平均4.6件/年 (H28～R2)	平均5.25件/年 (H28～R1:達成)
交流人口の拡大	まちなか観光客数 (年間)	199,657人/年 (H24～26)	393,057人/年 (R2)	737,433人/年 (R1:達成)

【新計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値
都市機能の充実	各施設利用者数 (人/年)	128,756人/年 (R1)	201,700人/年 (R7)
まちなかの 回遊機能の向上	歩行者・自転車等通行量 (平日・休日の合計)	2,125人/日 (R1)	2,300人/日 (R7)
賑わいの創出	空き地・空き店舗解消数 (件)	— (R1)	25件 (R7)

都市機能の充実

【主要事業】

- ・公共複合施設整備事業
- ・公立置賜長井病院改築事業
- ・旧長井小学校第一校舎活用事業

など

まちなか回遊機能の向上

【主要事業】

- ・桐町成田線街路整備事業
- ・観光ボランティアガイド事業
- ・地域連携DMO事業

など

賑わいの創出

【主要事業】

- ・起業・創業支援事業
- ・第一種大規模小売店舗立地法特別区域の設定
- ・水陸両用バス運行事業

など

